

投資リスク（その他の留意点）

「S&P 500 先物 2 倍レバレッジ日次指数」に内在する性質に関する注意点

■対象指標とする「S&P 500 先物 2 倍レバレッジ日次指数」は基本的に原指標の「S&P500 先物指数」の変動率の「2 倍」の値動きになる指数です。

指標と原指標は完全な正相関ではないため、複数日以上の計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「S&P500 先物指数」の変動率の「2 倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「S&P500 先物指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「S&P500 先物指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逡減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逡減が強まる特性を持ちます。

追加的記載事項

基準価額の値動きに関する留意点

■iFreeETF S&P500 レバレッジは、信託財産の 1 口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行いません。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- 株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額の 2 倍と同額とならないこと
- S&P500 先物指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差
- 追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動
- 公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること
- 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- 株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響
- 株価指数先物の最低取引単位の影響

対象株価指数の値動きについて

■「対象株価指数」は、変動率が「S&P500 先物指数」の日々の変動率の 2 倍となるように算出されているため、前日と比較するとその変動率は「S&P500 先物指数」の 2 倍となりますが、2 日以上離れた日との比較においては、「S&P500 先物指数」の変動率の「2 倍」になるわけではありません。

指数について

S&P 500 先物 2 倍レバレッジ日次指数（「当インデックス」）は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P®、S&P 500®、US 500、The 500、iBoxx®、iTraxx®および CDX®は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S&P」）の商標です。Dow Jones®は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

iFreeETF S&P500 インバース 投資リスク/追加的記載事項/指数について

投資リスク（その他の留意点）

「S&P 500 先物インバース日次指数」に内在する性質に関する注意点

■対象指標とする「S&P 500 先物インバース日次指数」は基本的に原指標の「S&P500 先物指数」の変動率の「-1 倍」（マイナス 1 倍）の値動きになる指数です。指標と原指標は完全な逆相関ではないため、複数日以上の計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「S&P500 先物指数」の変動率の「-1 倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「S&P500 先物指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「S&P500 先物指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逡減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逡減が強まる特性を持ちます。

追加的記載事項

基準価額の値動きに関する留意点

■iFreeETF S&P500 インバースは、信託財産の 1 口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行いません。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- 株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額と同額とならないこと
- S&P500 先物指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差

- 追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動
- 公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること
- 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- 株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響
- 株価指数先物の最低取引単位の影響

対象株価指数の値動きについて

■「対象株価指数」は、変動率が「S&P500 先物指数」の日々の変動率の-1倍となるように算出されているため、前日と比較するとその変動率は「S&P500 先物指数」の-1倍となりますが、2日以上離れた日との比較においては、「S&P500 先物指数」の変動率の「-1倍」になるわけではありません。

指数について

S&P 500 先物インバース日次指数（「当インデックス」）は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®]は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S&P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

iFreeETF S&P500 ダブルインバース 投資リスク/追加的記載事項/指数について

投資リスク（その他の留意点）

「S&P 500 先物 2 倍インバース日次指数」に内在する性質に関する注意点

■対象指標とする「S&P 500 先物 2 倍インバース日次指数」は基本的に原指標の「S&P500 先物指数」の変動率の「-2倍」（マイナス2倍）の値動きになる指数です。

指標と原指標は完全な逆相関ではないため、複数日以上 of 計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「S&P500 先物指数」の変動率の「-2倍」とはならず、計算上、差が生じ

ます。この差は当該期間中の「S&P500 先物指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「S&P500 先物指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逡減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逡減が強まる特性を持ちます。

追加的記載事項

基準価額の値動きに関する留意点

■iFreeETF S&P500 ダブルインバースは、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行いません。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- 株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額の2倍と同額とならないこと
- S&P500 先物指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差
- 追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動
- 公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること
- 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- 株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響
- 株価指数先物の最低取引単位の影響

対象株価指数の値動きについて

■「対象株価指数」は、変動率が「S&P500 先物指数」の日々の変動率の-2倍となるように算出されているため、前日と比較するとその変動率は「S&P500 先物指数」の-2倍となりますが、2日以上離れた日との比較においては、「S&P500 先物指数」の変動率の「-2倍」になるわけではありません。

指数について

S&P 500 先物 2 倍インバース日次指数（「当インデックス」）は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJI」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S&P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]および CDX[®]は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S&P」）の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJI に付与されており、大和アセットマネジメン

ト株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。当ファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、当インデックスのいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

iFreeETF NASDAQ100 レバレッジ 投資リスク/追加的記載事項/指数について

投資リスク（その他の留意点）

「NASDAQ100 レバレッジ指数」に内在する性質に関する注意点

■対象指標とする「NASDAQ100 レバレッジ指数」は基本的に原指標の「NASDAQ100 指数」の変動率の「2 倍」の値動きになる指数です。指標と原指標は完全な正相関ではないため、複数日以上計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「NASDAQ100 指数」の変動率の「2 倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「NASDAQ100 指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「NASDAQ100 指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逡減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逡減が強まる特性を持ちます。

追加的記載事項

基準価額の値動きに関する留意点

■iFreeETF NASDAQ100 レバレッジは、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行いません。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

・株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額の2倍と同額とならないこと

・NASDAQ100 指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差

・追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差

・株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動

・公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること

・運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担

・株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響

・株価指数先物の最低取引単位の影響

対象株価指数の値動きについて

■「対象株価指数」は、変動率が「NASDAQ100 指数」の日々の変動率の2倍となるように算出されているため、前日と比較するとその変動率は「NASDAQ100 指数」の2倍となりますが、2日以上離れた日との比較においては、「NASDAQ100 指数」の変動率の「2倍」になるわけではありません。

指数について

「iFreeETF NASDAQ100 レバレッジ」(以下、「当ファンド」といいます。)は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社(以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「株式会社」と総称します。)によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 Leveraged Index の一般的な株式市況への追随可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行ないません。株式会社と大和アセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq®および NASDAQ -100® Leveraged Index; NDXL™の登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、ナスダックが決定、構築および算出を行なう NASDAQ-100 Leveraged Index の使用を許諾することに限られます。ナスダックは、NASDAQ-100 Leveraged Index の決定、構築および計算に関し、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。株式会社は、当ファンドの管理、マーケティング、取引に関連して一切の責任を負いません。株式会社は、NASDAQ-100 Leveraged Index とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式会社は、NASDAQ-100 Leveraged Index またはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行ないません。株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行なわず、かつ NASDAQ-100 Leveraged Index®またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

投資リスク（その他の留意点）

「NASDAQ100 インバース指数」に内在する性質に関する注意点

■対象指標とする「NASDAQ100 インバース指数」は基本的に原指標の「NASDAQ100 指数」の変動率の「-1 倍」（マイナス 1 倍）の値動きになる指数です。指標と原指標は完全な逆相関ではないため、複数日以上計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「NASDAQ100 指数」の変動率の「-1 倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「NASDAQ100 指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「NASDAQ100 指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逓減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逓減が強まる特性を持ちます。

追加的記載事項

基準価額の動きに関する留意点

■iFreeETF NASDAQ100 インバースは、信託財産の 1 口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行いません。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- ・ 株価指数先物の売建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額と同額とならないこと
- ・ NASDAQ100 指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差
- ・ 追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- ・ 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動

- ・ 公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること
- ・ 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- ・ 株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響
- ・ 株価指数先物の最低取引単位の影響

対象株価指数の値動きについて

■「対象株価指数」は、変動率が「NASDAQ100 指数」の日々の変動率の-1 倍となるように算出されているため、前日と比較するとその変動率は「NASDAQ100 指数」の-1 倍となりますが、2 日以上離れた日との比較においては、「NASDAQ100 指数」の変動率の「-1 倍」になるわけではありません。

指数について

「iFreeETF NASDAQ100 インバース」(以下、「当ファンド」といいます。)は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社(以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「株式会社」と総称します。)によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 1x Short Index の一般的な株式市況への追従可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行ないません。株式会社と大和アセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq[®]および NASDAQ -100[®] 1x Short Index; NDXS1TM の登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、ナスダックが決定、構築および算出を行なう NASDAQ-100 1x Short Index の使用を許諾することに限られます。ナスダックは、NASDAQ-100 1x Short Index の決定、構築および計算に関し、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。株式会社は、当ファンドの管理、マーケティング、取引に関連して一切の責任を負いません。株式会社は、NASDAQ-100 1x Short Index とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式会社は、NASDAQ-100 1x Short Index またはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行ないません。株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行なわず、かつ NASDAQ-100 1x Short Index またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

iFreeETF NASDAQ100 ダブルインバース 投資リスク/追加的記載事項/指数について

投資リスク（その他の留意点）

「NASDAQ100 ダブルインバース指数」に内在する性質に関する注意点

■対象指標とする「NASDAQ100 ダブルインバース指数」は基本的に原指標の「NASDAQ100 指数」の変動率の「-2倍」(マイナス2倍)の値動きになる指数です。指標と原指標は完全な逆相関ではないため、複数日以上計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「NASDAQ100 指数」の変動率の「-2倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「NASDAQ100 指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「NASDAQ100 指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逓減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逓減が強まる特性を持ちます。

追加的記載事項

基準価額の値動きに関する留意点

■iFreeETF NASDAQ100 ダブルインバースは、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行いません。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

- ・株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額の2倍と同額とならないこと
- ・NASDAQ100 指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差
- ・追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- ・株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動
- ・公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること
- ・運用管理費用(信託報酬)、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- ・株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響
- ・株価指数先物の最低取引単位の影響

対象株価指数の値動きについて

■「対象株価指数」は、変動率が「NASDAQ100 指数」の日々の変動率の-2倍となるように算出されているため、前日と比較するとその変動率は「NASDAQ100 指数」の-2倍となりますが、2日以上離れた日との比較においては、「NASDAQ100 指数」の変動率の「-2倍」になるわけではありません。

指数について

「iFreeETF NASDAQ100 ダブルインバース」(以下、「当ファンド」といいます。)は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社(以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「株式会社」と総称し

ます。)によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 2x Short Index の一般的な株式市況への追随可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行ないません。株式会社と大和アセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq®およびNASDAQ -100® 2x Short Index; NDXS2™の登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、ナスダックが決定、構築および算出を行なう NASDAQ-100 2x Short Index の使用を許諾することに限られます。ナスダックは、NASDAQ-100 2x Short Index の決定、構築および計算に関し、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。株式会社は、当ファンドの管理、マーケティング、取引に関連して一切の責任を負いません。株式会社は、NASDAQ-100 2x Short Index とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式会社は、NASDAQ-100 2x Short Index またはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの保有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行ないません。株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行なわず、かつ NASDAQ-100 2x Short Index®またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。